

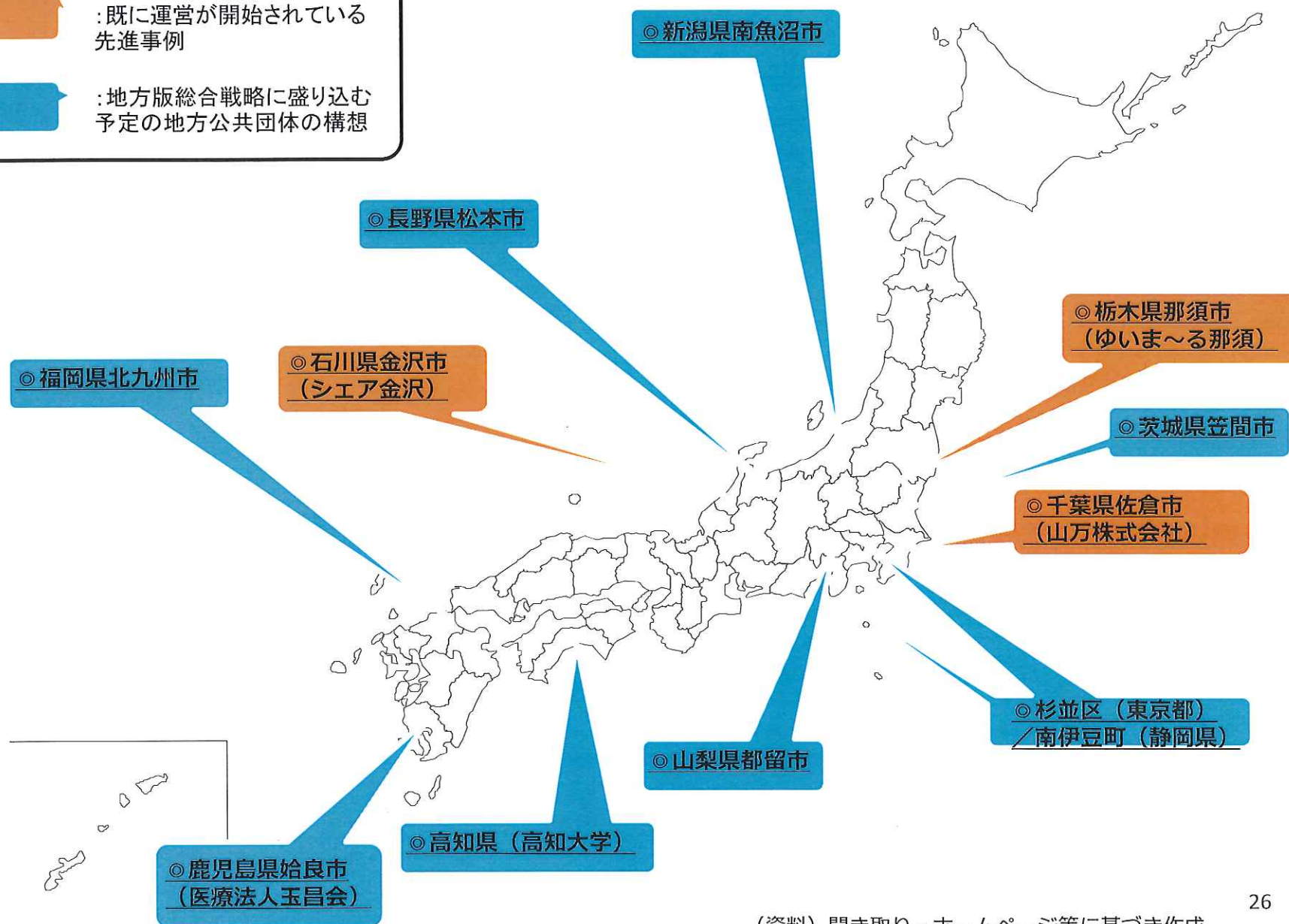


日本版CCRC関連の構想・取組を整理するに当たって参考とした事例

※ 本資料の掲載事例は、内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局における日本版CCRC構想の検討に当たって参考とした各地域におけるコミュニティづくりの事例であり、必ずしも各事例がそのまま日本版CCRCにあたるものではない。

参考とした構想・取組事例

-  :既に運営が開始されている先進事例
-  :地方版総合戦略に盛り込む予定の地方公共団体の構想



(資料) 聞き取り・ホームページ等に基づき作成。

②地方版総合戦略に盛り込む予定の地方公共団体の構想

参考とした構想・取組事例 鹿児島県始良市（医療法人玉昌会）

鹿児島県始良市において、病院の移転（建て替え）と併せた一体的な整備によるCCRCの実現可能性を検討。地域包括ケアシステムを基盤とした「コンパクトシティ始良」の構築に協力する「JOYタウン構想」。

◎地域特性：まちなか型

◎事業主体（コミュニティの特徴） ：医療法人

病院を基盤にしたまちづくり

◎地域的広がり：エリア型

新病院のほか、介護、予防、教育、住まい、交流スペースなどの機能を一体的に整備。一般の方や障害者の方が住めるよう整備も検討。

◎住み替えパターン ：大都市移住型

鹿児島県外に出た人のUターン、地域住民をメインターゲット

始良型モデル
JOYタウン構想



◎推進主体・住民

- ・医療法人玉昌会（2病院の運営と在宅サービス事業を実施）
- ・始良市は平成22年度に加治木町、始良町、蒲生町が合併。H27.6現在の人口約76,000人。
- ・始良市のコンパクトシティ化の一翼を担う構想。
- ・地域の中で、多職種・多業種、住民同士が互いに支えながら、住み慣れた地域でその人らしく暮らせる環境を支える仕組み。（地域包括システム）
- ・鹿児島県外に出た人のUターン、地域住民をメインターゲット。
- ・災害時の対応（隣県からの避難者の可能性）も想定した計画、警察・消防以外でいざというときに24時間かけこんできてもらえる拠点としていきたいとの考え。

◎住まい・まちづくり

- ・厚生年金福祉施設サンピアあいらの跡地（約12,000坪）を利用し、病院を建て替える計画。
- ・新病院（3,000～4,000坪）のほか、介護、予防、教育、住まい、交流スペースなどの機能を一体的に整備し、一般の方や障害者の方が住めるような整備も検討。
- ・残っているホテルの活用も。
- ・鹿児島空港から車で15分、鹿児島市街地まで車で30分。

◎活動

- ・予防医療や介護以外のアクティビティを今後検討。
- ・誰でも利用できる図書館やカフェを通じた交流機会の創出など。

◎ケア

- ・医療エリアでは、慢性期を中心に、急性期から在宅ケアまで持続したケアを実現。
- ・医療介護支援・地域包括ケアサポートなど総合的な相談室の設置。